

訪問研修についてのQ&A



Q：保育を見られるとなると、構えてしまって負担に感じます。指導案もしっかり書かなくてははいけませんか。

- 日頃の保育をもとに研修を行い、日頃の保育を改善していくことが大切ですので、いつも通りの保育を参観させてください。また指導案（保育活動案）は、活動の流れが簡単に記載してあれば十分です。

Q：研修の対象は3～5歳児となっていますが、認定こども園なので、0～2歳児の保育を見てもらうことは可能ですか。

- 可能です。ただ、研修会での対象は3～5歳児とすることをご了承願います。その場合でも0～2歳児の保育を踏まえて研修を行います。

Q：研修会は何分くらいで、誰が進めるのですか。

- これまでの例では、1時間～1時間半程度が多いですが、園（所）の希望に応じます。保育参観後すぐ、お昼寝の時間、間をおいて夕方の時間に研修会に設定する園（所）があります。園（所）の研修会にアドバイザーや推進リーダーが参加させてもらうので、司会は園（所）の方がされる場合が多いです。

Q：毎年希望しても構わないのですか。

- 構いません。ただし、希望する施設が予定数を超える場合は、調整をさせていただきます。

Q：研修会で助言をするアドバイザーや推進リーダーはどのような人で、どのようなアドバイスをしてもらえるのですか。

- 幼児教育の豊富な実践経験を有する園（所）長、副園（所）長、主任等、もしくはその経験者が伺います。保育を参観し、子どもの姿や保育者の関わりを基に、具体的で実践的なアドバイスをします。

Q：センターから何人参加されますか。園（所）からの研修会に多くは参加できないのですが。

- 基本的には2名～3名です。
- 園（所）からたくさんの方に参加いただければよいのですが、保育がありますので、参加可能な方で構いません。研修会に参加できなくても、「保育だけ参観する」「前日の保育を見て付箋を通して参加する」など、研修方法の工夫をしている園や所もありますので、参考にしてください。

Q：特別な支援を要する子どもへの関わり方をアドバイスしてほしいのですが。

- 訪問研修では、特別な支援を要する子どもも含め、一人一人の育ちや発達に応じた援助についてアドバイスします。
- 特別支援教育について専門性の高い方と連携を図り、特別な支援を要する子どもへの関わり方を研修テーマとしている園（所）の訪問に同行することができます。希望は、事前打合せ時に伺います。

